

2000年～2014年3月の期間に川崎医科大学附属川崎病院(外来・入院)を受診したNBNC肝細胞癌患者さんへのお知らせ

課題名：非B非C型肝細胞癌の実態調査>

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2000年1月～2014年3月の間に川崎医科大学附属川崎病院内科を受診したNBNC肝細胞癌患者さんを対象に肝細胞癌の臨床的特徴、再発率、再発に関わる因子、予後などを明らかにするために後方視的調査を実施いたします。本研究は全国多施設共同研究であり、研究代表者は東京女子医科大学です。

近年、アルコール多飲や、肥満に伴う非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）を基盤としたNBNC肝細胞癌が増加しています。しかし、このような非B非C型肝細胞癌の実態はいまだ明らかではありません。これらの事実を明らかにし、今後の非B非C型肝細胞癌の診断・治療につなげてゆきたいと考えています。

本研究の対象期間は2000年1月から2014年3月までの間です。研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社など）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究は費用を要しない研究であり、本研究課題を実施する研究者が所属する総合内科学2は、持田製薬株式会社、大日本住友製薬株式会社、中外製薬株式会社、ボストンサイエンティフィックジャパン株式会社より、奨学寄付金の受け入れおよび分担研究者、河本博文は、ガドリウスメディカル株式会社からの報酬の受入れがあるが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されている。なお、持田製薬株式会社、大日本住友製薬株式会社、中外製薬株式会社、ボストンサイエンティフィックジャパン株式会社・ガドリウスメディカル株式会社は、本研究課題には直接関係はない企業である。

1. 治療介入を行わない「観察研究」として既存資料のみを用いた研究であるため、改めて人体人材を採取することはありません。
2. 試験への不参加や、参加とりやめを希望される方やご質問のある方は、下記までご一報くださいますようお願いいたします。

問い合わせ先：総合内科学2 川中美和

電子メール：sougounaika2@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL:086-225-2111